

製品安全データシート（追加情報）

1. 製品及び会社情報

製品名：日産アミスタープロリス粒剤

会社名：日産化学工業株式会社

住所：東京都千代田区神田錦町三丁目7番地1

担当部門：農業化学品事業部 登録部

電話番号：03-3296-8151

FAX番号：03-3296-8016

2. 適用法令

化学物質管理促進法（PRTR法）：

アゾキシストロピン 該当しない（2009年10月1日以降 [第一種指定化学物質(政令番号431)]6.0%）

フィプロロル[第一種指定化学物質（政令番号18）]1.0%（2009年10月1日以降 第一種指定化学物質(政令番号22)）

*本MSDSの情報に基づくPRTRの届出については、次のとおりとする。

・アゾキシストロピン：2010年4月から第一種指定化学物質431番として排出・移動量の把握が必要です。

・フィプロロル：2009年度分までは第一種指定化学物質18番としてその排出・移動量を把握し、2010年4月からは、政令改正後の第一種指定化学物質22番として排出・移動量の把握が必要です。

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の製品安全データシート（MSDS）「アミスタープロリス粒剤」（シジエンタ ジャパン株式会社）平成15年10月22日（第5版）を参照してください。

製品安全データシート (MSDS)

会社名 : シンジェンタ ジャパン株式会社
 住所 : 〒104-6021
 東京都中央区晴海1丁目8番10号
 オフィスタワーX 21階
 担当部門 : HSEグループ
 電話番号 : 03-6221-1047
 FAX番号 : 03-6221-1051
 緊急連絡先 : 同上

整理番号 : FZP-2-5

(作成日) 平成15年10月22日 (第5版)

製品名 (化学名、商品名等)

アミスタープリンス粒剤

物質の特定

- ・単一製品・混合物の区別 : 2種混合製品
- ・化学名 : *メチル(2-[6-(2-シアノフェキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル)-3-メトキシクアレート*
 (一般名 : アゾキシストロビン)
(±)-5-アミノ-1-(2,6-ジクロロ- α , α -トリフルオロ-プロパイル)-4-トリフルオロメチルスルフィニルピラゾール-3-カルボニトリル
 (一般名 : フィプロニル)
- ・成分及び含有量 :

| | |
|-----------|-----|
| アゾキシストロビン | 6% |
| フィプロニル | 1% |
| 鉱物質微粉等 | 93% |
- ・その他の情報 :

| 情報の種類 | アゾキシストロビン | フィプロニル |
|----------|----------------------|-------------------------|
| 化学式又は構造式 | $C_{22}H_{17}N_3O_5$ | $C_{12}H_4Cl_2F_6N_4OS$ |
| CAS No. | 131860-33-6 | 120068-37-3 |

危険有害性の分類

- ・分類の名称 : 分類基準に該当しない。
- ・有害性 : 眼に軽度の刺激性がある。

応急措置

- ・目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の手当を受ける。
- ・皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類を脱ぎ、付着部を石鹸と水で洗浄する。
皮膚の変色、痛み等がある場合は、医師の手当を受ける。
- ・吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移す。保温し、安静にさせ、鼻をかませ、うがいさせ、医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合 : 直ちに医師の手当を受ける。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示すこと。意識がある場合には、水で口を洗浄する。意識が無い場合は、嘔吐させてはいけない。

火災時の措置

- ・消火方法 : 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。消火の場合は、以下の消火剤(器)を用いる。ただし、直状放水を行わない。
- ・消火剤 :

| | |
|--------|--------------------|
| 小規模火災時 | 泡消火器、炭酸ガス消火器、粉末消火器 |
| 大規模火災時 | 泡又は噴霧放水 |

| | | |
|-----------------|--|--|
| 漏出時の措置 | <p>漏出物の取り除き作業には、保護メガネ、保護手袋、保護衣を着用し風下では作業をしない。 漏出した本品は、微粉が飛散しないように集め、密閉可能な空容器に回収し、残りを水で洗い流す。 汚染した洗浄水が周辺の池や川に流入しないようにする。粉末が直接皮膚や目、のど等の粘膜に触れないように細心の注意を払うこと。</p> | |
| 取扱い及び 保管上の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・取扱い：吸い込んだり、目や皮膚に触れないように十分注意する。作業は換気のよい場所で行う。製品の飛散、漏出等がないようにする。 作業中に接触する可能性がある場合には、綿又は合成繊維製の作業衣（オーバーオール等）、ゴム製の前掛け、保護靴又は保護長靴、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡又は保護マスクを着用する。 作業後は体を十分に洗浄（シャワー・入浴・洗髪）し、着衣を着替える。 汚染された装置、器具等は、洗剤等で十分に洗浄する。 河川・湖沼等の表面水、地下水、排水路等を汚染しないようにする。 ・保管：換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて保管する。 関係者以外の人や動物を近づけない。直射日光や湿気を避け、食品や飼料と共に保管しない。 ・流通・使用者への注意：ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 | |
| 暴露防止措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・管理濃度：8時間 TWA 値 アゾキシストロビン……2 mg / m³ (原体) (シンジェンタ社設定) ・許容濃度：日本産業衛生学会、ACGIH等において設定されていない。 ・設備対策：粉塵が作業場の空気を汚染しないように局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行なう。 ・呼吸用保護具：上記の管理濃度レベルを超える場合は呼吸保護具を着用する。 ・保護具：取扱いの際は、保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。 | |
| 物理／化学的性質 | <ul style="list-style-type: none"> ・外 視 等：淡褐色細粒 ・pH：3.9 ・見掛け比重：0.87 ・水 溶 性：有効成分が徐々に溶出する。 | |
| 危険性情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・可燃性：通常の使用方法で引火、爆発等の危険はない。 ・発火性（自然発火性）：なし ・酸化性：なし ・自己反応性・爆発性：なし ・安定性・反応性：通常の手扱い条件では安定であり、反応性はない。 | |
| 有害性情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・刺激性：眼一次刺激性（ウサギ） 軽微な眼刺激性あり（♂, ♀） 皮膚一次刺激性（ウサギ） 皮膚刺激性なし（♂, ♀） ・感作性：皮膚感作性（モルモット） 感作性なし ・急性毒性：ラット経口 LD₅₀ 4,500 mg/kg（♂, ♀） マウス経口 LD₅₀ ♂ 4,500 mg/kg、♀ 2,800 mg/kg ラット経皮 LD₅₀ >2,000 mg/kg（♂, ♀） | |

| | | | |
|--------|-------|-------------------------------|---|
| 環境影響情報 | ・ 分解性 | ： 酸、アルカリ | ： アゾキシストロビン…… pH5 及び 7 の水溶液 (25℃) 中で 31 日間以上安定。 |
| | | | フィプロニル…… pH5 及び 7 の水溶液中で安定、pH9 の水溶液中で緩やかに加水分解する。熱に安定。 |
| | ・ 魚毒性 | ： コイ LC ₅₀ (48 時間) | 300 ppm |
| | | ミジンコ EC ₅₀ (3 時間) | 9.9 ppm |
| | ・ その他 | ： オクタノール/水分分配係数 (Log Po/w) | アゾキシストロビン 2.5 (20℃) フィプロニル 4.0 |

廃棄上の注意 本品を含む廃棄物は、法律に従い産業廃棄物として処理、処分する。
薬液や空容器で湖、河川及び池を汚染しないようにする。汚染廃液は、湖、河川及び池に流入する恐れのある場所に保管しない。空容器を他の用途に使用しない。

輸送上の注意 運搬に際しては容器に破損、漏れのないことを確認し、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。
転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

主な適用法令 農薬取締法 : 登録農薬
労働安全衛生法 : 通知対象物質 (311) シリカ 2%

その他 記載内容の問い合わせ先： HSEグループ (03-6221-1047)
サプライチェーン部 (03-6221-3805)

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品
質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該
製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱い
について記載したものです。従って、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置
を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いします。